

(敬称略)

- テーマ： コミュニティ・スクールの導入への準備や手続き、
導入後の運用や運営学校や地域の課題解決や教育活動の変化

	発表テーマ	発表内容	発表者
1	経堂小学校地域運営学校立ち上げと2年間の学校運営委員会の取組	平成25年度から地域運営学校の指定を受けた。指定を受けるまでの経緯と、指定を受けた2年間の取組とこれからの方向性について	東京都・世田谷区・経堂小学校 校長 坂本正彦 学校運営委員会 委員長 白木寿美子 学校運営委員会 委員 小谷典子
2	～ともに育む気運を高める～ コミュニティ・スクール導入の歩み	平成26年度よりコミュニティ・スクールの立ち上げた。地域に育まれているという思いをもたせ、地域活性化につながる取組を紹介する。	新潟県・刈羽村・刈羽小中学校 刈羽学校運営協議会 会長 新野勝幸 刈羽中学校 教頭 三宮一行 刈羽村教育委員会 指導主事 小林多佳子
3	コミュニティ・スクール指定準備から、これまでの4年の経過を振り返って	準備段階の様子、学校支援本部（実働組織）の活動、学校関係者評価の改善、育成会議との両輪等に触れて、成果と課題を明確にします。	新潟県・上越市・春日小学校 学校運営協議会 会長 古賀野完爾 校長 市川久男

■ コーディネーター（助言者）



宮崎大学大学院 准教授

押田 貴久

1973年埼玉県生まれ。専門は教育行政学。東京大学大学院教育学研究科修士課程修了後に埼玉県比企郡玉川村（現ときがわ町）の自治体職員として勤務し、再び博士課程で学び、2012年より宮崎大学大学院准教授。日向市行政評価専門委員会副委員長。主著として大桃敏行・押田貴久編著（2014）『教育現場に革新をもたらす自治体発カリキュラム改革』（共編著，学事出版）がある。

世田谷区立経堂小学校 地域運営学校

- ・立ち上げまでの経緯
- ・2年間の取り組み
- ・これからの方向性

校長

坂本正彦

学校運営委員長

白木寿美子

運営委員

小谷典子

経堂小学校の紹介

東京都世田谷区

人口：88万人
公立学校数
小学校64校
中学校：29校



経堂小学校の紹介

小田急線経堂駅 徒歩
10分
商店街や住宅地
農地も少し



児童数: 630人
学級数: 20クラス
特別支援学級2クラス
開校75周年



経堂小学校の紹介

経堂小の地域の特色

- ・3代で学校に通っている家族がいる
- ・転勤族が多い
- ・高齢者世帯が多い
- ・新しく引っ越してくる家族が多い
- ・子どもの数が増えている
- ・木造住宅密集地である

地域運営学校立ち上げまで

世田谷区地域運営学校最後の指定

- ・平成17年度：小学校3校、中学校2校指定
- ・19年度：12校 ・20年度：5校 ・21年度：13校
- ・22年度：7校 ・23年度：5校 ・24年度：27校
- ・平成25年度で残りの19校指定となる

平成24年度
前任校で地域運営学校を立ち上げた校長赴任

地域運営学校立ち上げまで

平成24年度の校長の取り組み

- ・経営方針の第一に立ち上げの基盤作りをあげる
- ・学校や地域のことを知る努力
- ・学校や地域のよさや課題を知る
- ・学校運営委員にふさわしい人選をさぐる
- ・学校運営委員会で協議してほしいことを考える



学校運営委員の決定
初めは校長のリードのもとで運営する

地域運営学校立ち上げまで

学校運営委員の人選

- ・保護者2名（前PTAの会長、おやじの会会員から）
- ・地域住民3名（青少年委員、町会、同窓会から）
- ・卒業生1名（40歳以下という区の規定から）
- ・就学予定児童・幼児の保護者1名（未就学児童がいる本校の保護者から）
- ・学識経験者1名（元校長）
- ・校長1名

計9名

地域運営学校立ち上げまで

発足に当たっての校長としての考え

- ・校長がリードしていく
- ・学校運営委員が学校、地域、保護者、同窓会が、それぞれ行っていることを知る
- ・地域運営学校として他校の取り組みを知り、学校運営委員会について理解する
- ・学校運営委員会として何をしていくかを見つけしていく

地域運営学校について学び考える

(年11回の学校運営委員会で)

- ・小学校の教育活動への理解
- ・小学校とかかわる協力団体等の理解
- ・教育活動や協力団体の活動の問題点の把握
- ・講師を招いての勉強会
- ・他校の取り組みの把握

検討すべき問題点として

- 盆踊り大会を今後どうしていくか
- 6年生の経堂小パレードを継続していくためにどうしていくか
- 夏のワークショップを継続していくために今後の運営をどうしていくか
- 同窓会の土曜教室を活性化していくにはどうすべきか
- 経堂スポーツクラブの充実のためにどうすべきか
- フラワーボランティアの活動をどう継続させていくか
- 研究校をめざしていくためには？
- 次年度から漢字検定の導入は？
- 展覧会の日曜日開催について

地域運営学校1年目

問題点に対する取り組み

- 各種団体の長を呼んでの現状把握
- 課題解決にむけての検討



- * 経堂小パレードと盆踊りの今後の方向性の決定
- * フラワーボランティアの募集
- * 展示会の日曜日公開
- * 漢字検定の検討

地域運営学校2年目

検討から実践へ

- 保護者との懇談会の実施
- 漢字検定実施
- 商店街での経堂小パレード実施に向けての計画作り
- 学校と地域との避難所運営訓練の計画作り
- 2年間の様子のリーフレット作成

地域運営学校2年目

今後検討すべき課題

- ・学力や体力の向上
- ・心の教育の推進
- ・家庭教育の充実
- ・学校支援地域本部の運営
- ・盆踊り大会の運営について
- ・夏のワークショップの運営
- ・経堂小パレードの継続と運営
- ・経堂スポーツクラブの充実
- ・フラワーボランティアの拡充
- ・漢字検定の実施と継続

これからの方向性

経堂小の地域運営学校のビジョン

「うちの学校化」計画にむけて

経堂小学校の子どもや経堂小学校にかかわる人たちが、地域に根ざしていることを実感し、地域のすべての人が経堂小学校を「うちの学校」と感じるようなつながりを創っていきます。

これからの方向性

地域の方に経堂小学校を「うちの学校」と思っていたくために……

- ・児童の学習成果をもっと地域へ広める
- ・学校、PTA、おやじの会で開催されている各種行事を一般公開する
- ・地域のコミュニティークラブやサークルを立ち上げる
- ・学校関係者が地域に出向き交流を深める
- ・ボランティア組織をふくらませる
- ・子どもたちと地域の人たちが直接かかわりあえる学校づくり

これからの方向性

うちの学校化計画に向けて

(今年度)

- ・「うちの学校化計画」を考える
- ・学校支援地域本部モデル校としての取り組み
- ・検討すべき課題に対する協議

(今年度実現したこと)

- ・5月・・・学校と地域合同の避難所訓練の実施
- ・10月・・・経堂小パレードの商店街での実施

～ともに育む気運を高める コミュニティ・スクール導入の歩み～



新潟県 刈羽CS学校運営協議会
刈羽村教育委員会

1

刈羽村の概要 ‘笑顔の村かりわ’



■人口 4,770人
(1,570世帯)

■人口減少率 Δ 0.1%
平成22年度調査(新潟県 Δ 2.3%)

■市町村財政評価全国4位

■かりわ保育園
刈羽小学校 } 1校ずつ
刈羽中学校 }



2

スポーツと文化の村



3

2007年7月 中越沖地震 震度6強



4



給水支援

仮設住宅の住民へ
支援物資



5

～10年後、20年後 刈羽を担う子どもたち～
地域に育まれているという思いをもたせ、
絆を深める刈羽村に

地域とのつながりを重視した
キャリア教育
「刈羽っ子プラン」

全村あいさつ運動

村の多彩な行事

地域貢献活動や
地域行事の参加

村での勤労体験

各地区
健全育成の行事

平成26年度より ○コミュニティ・スクール
○学校支援地域本部事業 をスタート

準備期間の経過

村教育委員会の動き

- 1 先進地視察
- 2 学校運営協議会に関する規則の検討開始
- 3 地域コーディネーターの人選
- 4 CSに関する費用の概算
→「新潟県学校・家庭・地域の連携促進事業」に申請
- 5 教員会、広報等での説明
- 6 学校運営協議会委員候補の検討

小・中学校の動き

- 1 教員会でCS研修
- 2 小中学校で準備委員会の開催
- 3 次年度の年間予定の検討
- 4 学校運営協議会委員選出

●地域貢献 地域交流活動



村のイベントボランティア

平成26年4月立ち上げ

CS地域連携の組織づくり

学校支援地域本部事業

- 地域コーディネーターが小・中学校に年間120日常駐
- 地域交流室の設置（中学校）



学校運営協議会



構成委員

社会教育委員長 社会福祉協議会長
 公民館長 子育て支援センター
 学校ボランティア代表 主任児童委員
 商工会事務局長 保育園長
 PTA前・現・次期会長(小・中学校)
 学識経験者

刈羽CSの特色

～CSを通して「地域とともにある学校づくり」の推進～

- 小中合同の学校運営協議会
- 学校支援地域本部事業のコーディネーターが、CSのコーディネーターも兼務
- 懇親会付き

～まず語り合い、絆を深める～

9

刈羽学校運営協議会

1年目 学校教育への関心と、ともに子どもを育む気運を高める。



年間 学校運営協議会4回開催

第1回学校運営協議会
学校運営の基本方針を説明
協議「今後のCSへの期待」

第2回学校運営協議会
会長・副会長の提言を基に協議

第3回学校運営協議会
グループ協議
学校関係者評価の今後

第4回学校運営協議会
学校関係者評価による振り返り
講演「刈羽CSの今後」

10

「オール刈羽」で子どもを育てる

村広報誌「かりわ」

「All刈羽!」が合い言葉 刈羽コミュニティ・スクール始まる

刈羽村では、今年度より地域の皆さんと学校づくりを進める「コミュニティ・スクール」を始めました。コミュニティ・スクールとは、刈羽で育つ子どもたちのために、地域・保護者・学校が一体となって地域ぐるみの教育活動を推進し、皆さんの声を生かしていくものです。

5月には第1回目の学校運営協議会が開かれ、委員の皆さんとの話し合いをスタートしました。

「刈羽甚句」を地元で踊れない子が多い。地域の方から教えてもらい、ふるさと祭りで踊れるようにしていきませんか。



刈羽村の子はこれができる。この村に生まれてよかったと思えることがあるといいと思う。

地域でボランティア活動が展開され、お年寄りも喜んでいる。ボランティアはされるより、する方がうれしくなる。そんな輪を広げていきましょう。

子どもたちの挨拶は、朝はよくなってきているが、昼の挨拶はもう少しだ。地域でも互いの顔が分かり、みんなで声をかけ合うようにしていきましょう。

協議からスタートした第1ステージ

刈羽甚句でふるさと祭りを盛り上げよう



小・中学校で刈羽甚句の練習

ボランティアの輪を 子どもや大人に広げよう



子どもたちの
ジョブチャレンジ

13

刈羽中学校 地域と連携を深める取組



資

PTA活動

活動

14

小・中学校 連携した取組



合同研究協議会



コミュニティ・スクール研修



学校・保護者・地域住民と一体感のある
取組ができれば・・・さらに同じ目標に
向かって子どもの育ちを支えられる

CSが始まっての学校の変容



子どもたちと一緒にいると元気になる。
次に何を一緒にしようか考えるのが楽しい

卒業生へ 手作りコサージュ のプレゼント



刈っ子応援団による支援の輪



学習支援



地域見守りたい



図書館ボランティア



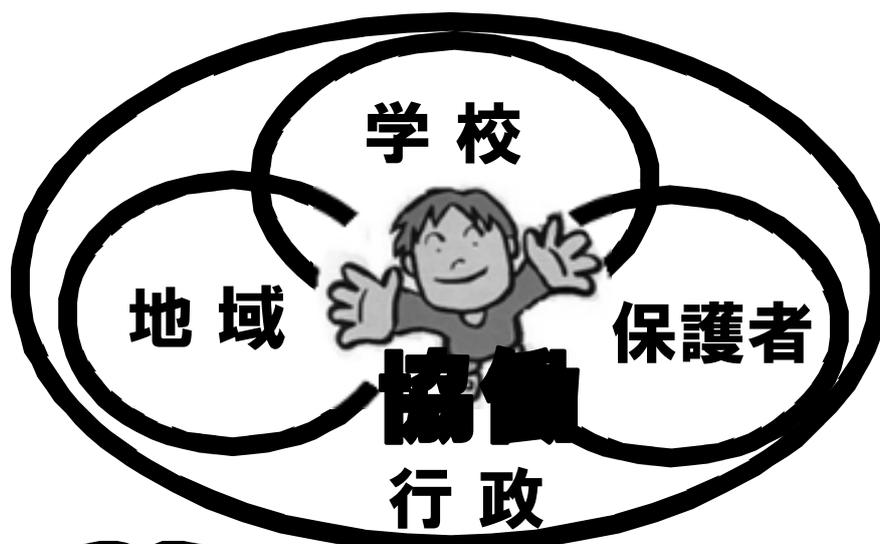
環境づくり支援

成果と課題

- 「CSは、子どものためにもなり、
地域の大人のためにもなっている。」
応援団の裾野が広がってきている。
- 学校運営のパートナーとして、様々な声を聞ける学校運営協議会。その役割はますます重要性を増す。
- 地域への情報発信を積極的に行う。

19

ともに育む気運を高めるために



刈羽のもんは
奥ゆかしい...

関係団体への働きかけ 便り
働きかけ やりがい
進捗状況を確認する場

参画意識が増す

上越市立春日小学校の取組から



コミュニティ・スクール指定
準備から、これまでの4年
の経過を振り返って

春日小学校運営協議会長 古賀野完爾
春日小学校長 市川 久男



春日小学校 <http://www.kasuga-e.jome.ed.jp/>



1 学校概要 (児童数728 学級数29)



校舎



あいさつ運動



異年齢交流活動の充実



生活科・総合的な
学習の充実



春日小学校 <http://www.kasuga-e.jome.ed.jp/>



2 立ち上げ準備の経過(平成23年度)

- ・第1回学校運営協議会立ち上げ準備会(23.6.1)
 - ※準備会委員は、すべて学校評議員
 - ①上越市からの事業提案の概要説明
 - ②学識者の論文の紹介と読み合わせ
- ・第2回学校運営協議会立ち上げ準備会(23.6.28)
 - ①上越市学校運営協議会準備委員会報告
 - ②春日小学校 学校運営協議会の在り方
 - ・会議の持ち方
 - ・メンバー
 - ・地域及び保護者への周知の仕方
 - ・立ち上げ会の運営
- ・市教委コミュニティ・スクール視察に参加(23.7.14)
 - 【視察での衝撃】 校長の情熱に感動！



春日小学校 <http://www.kasuga-e.jome.ed.jp/>

2



2 立ち上げ準備の経過(平成23年度)

- ・第3回学校運営協議会立ち上げ準備会(23.9.9)
 - ① 春日小学校学校運営協議会規則原案
 - ② 学校運営協議会組織表
 - ③ 学校運営協議会関係組織図

* 学校職員を除いたメンバーのみでの準備会 ⇒ やる気と熱さ！
- ・第4回学校運営協議会立ち上げ準備会(23.9.16)
 - ① 第3回の提案詳細の検討
 - ② 学校運営協議会立上げまでのスケジュール

↓

 - ・ 役割や位置づけの理解
 - ・ 他団体との連携



春日小学校 <http://www.kasuga-e.jome.ed.jp/>

3



2 立ち上げ準備の経過(平成23年度)

- ・第5回学校運営協議会立ち上げ準備会(23.12.7)
 - ① 教育コラボへの提案内容について
 - ② 地域啓発用リーフレット(原案)の検討
 - ③ 学校支援本部の立ち上げについて
- ・第6回学校運営協議会立ち上げ準備会(24.1.24)
 - ① 平成24年度グランドデザイン原案の検討
 - ② 市教委資料「地域と共に学校をつくる」
- ・第7回学校運営協議会立ち上げ準備会(24.2.27)
 - ① 23年度学校評価結果の提示
 - ② 24年度学校経営方針について(承認との受け止め)
 - ③ 24年度グランドデザインについて(承認との受け止め)



2 立ち上げ準備の経過(平成23年度)

地域への情報提供

- ・23年12月15日(木) 後援会役員会にて町内会長にプレゼン
- ・24年 2月15日(水) リーフレットの保護者配布・地域回覧
- ・ 2月15日(水) 民生児童委員懇談会にてプレゼン
- ・ 2月27日(月) 第2回学校評議員会(第7回学校運営協議会準備会)
 - * 平成23年度学校評価結果、平成24年度学校経営方針、グランドデザイン等の提案・協議
- ・ 3月 6日(火) 青少年健全育成協議会幹事会にてプレゼン
- ・ 5月 1日(火) PTA総会にてプレゼン

※CSが地域へ浸透するには時間がかかる。CS指定が始まって
も、最低3年は地域への周知期間ととらえていたが……。



3 立ち上げ準備の取組から①

(1) 地域連携室の設置

(隔週火曜日に、地域コーディネータが常駐)



- ① 学校・子どもの現状把握
- ② 学校のニーズへの支援
- ③ 地域の情報提供..

今度、地域探検を計画してるんです。

よろしくお願ひします！



春日小学校 <http://www.kasuga-e.jome.ed.jp/>

3 立ち上げ準備の取組から②

(2) 平成24年度グランドデザインの作成

平成24年度 春日小学校 グランドデザイン

モットー: やさしく かしく たくましく

基本理念: 響き合い満ち合う子どもの育成

学校経営方針 Team-Net-Foot Work

社会性をはぐくむ

Pro.2 心づくり

Pro.3 健康・体づくり

学校経営方針の柱



春日小学校 <http://www.kasuga-e.jome.ed.jp/>

3 立ち上げ準備の取組から③

(3) 地域への情報提供

説明文書(リーフレット)の配布



4 委員の構成

学校運営協議会委員(平成24年度)

地域主導

No	協議会役職	名前	平成23年度役職等
1	会長	〇〇〇	春日小青少年協会長・学校評議員
2	副会長	〇〇〇	PTA会長・学校評議員
事務局	事務担当	〇〇〇	学校評議員
	事務担当	〇〇〇	前PTA会長
	事務担当	〇〇〇	教員
6	評議員	〇〇〇	民生児童委員
7		〇〇〇	春日地域育成会特別構成員
8		〇〇〇	PTA副会長
9		〇〇〇	後援会長・学校評議員
10		〇〇〇	春日小青少年協幹事
11		〇〇〇	PTA副会長
12		〇〇〇	春日地域育成会特別構成員
13		〇〇〇	(公募)
14		〇〇〇	校長



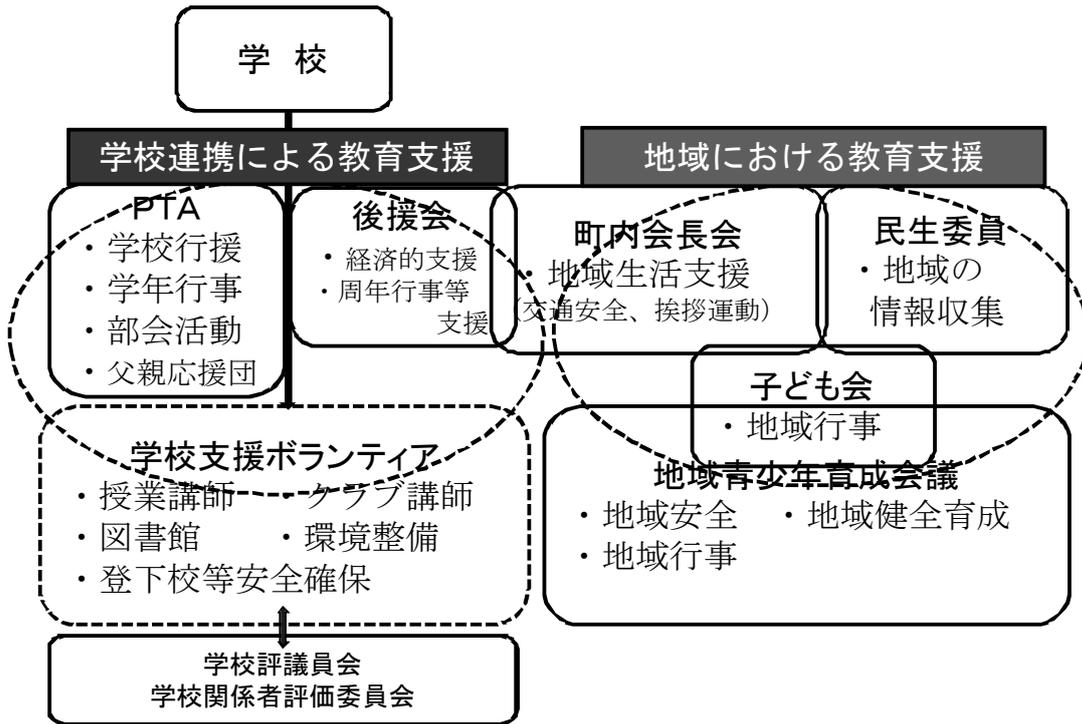
充職ではなく
人財!



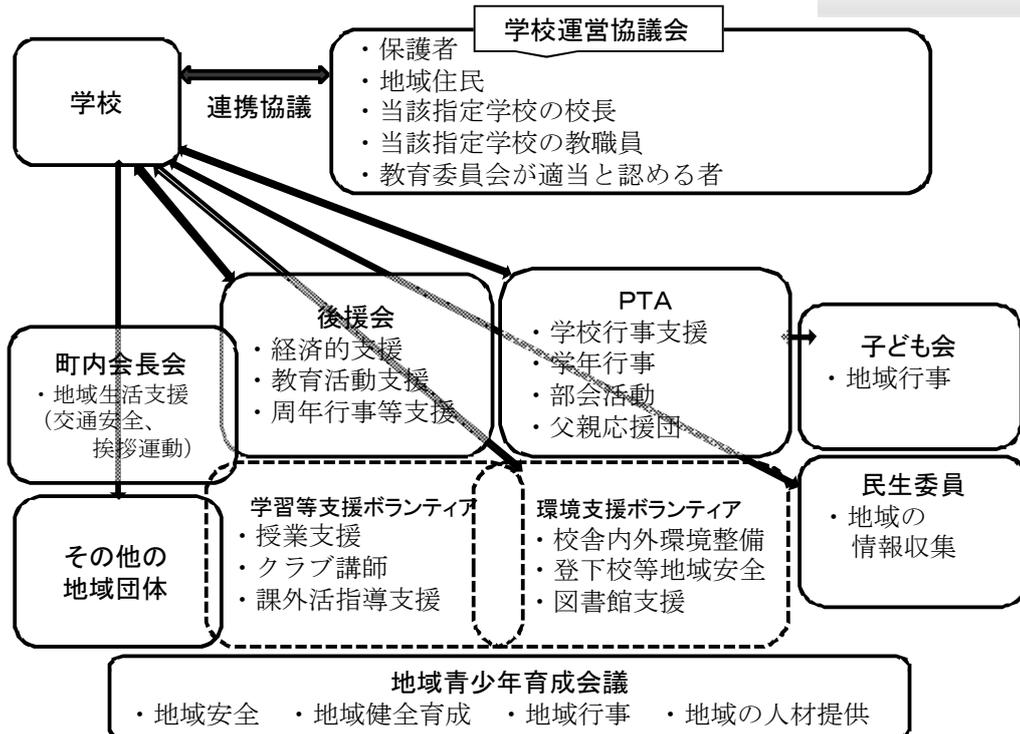


5 組織構造

(1)従来の組織の関係

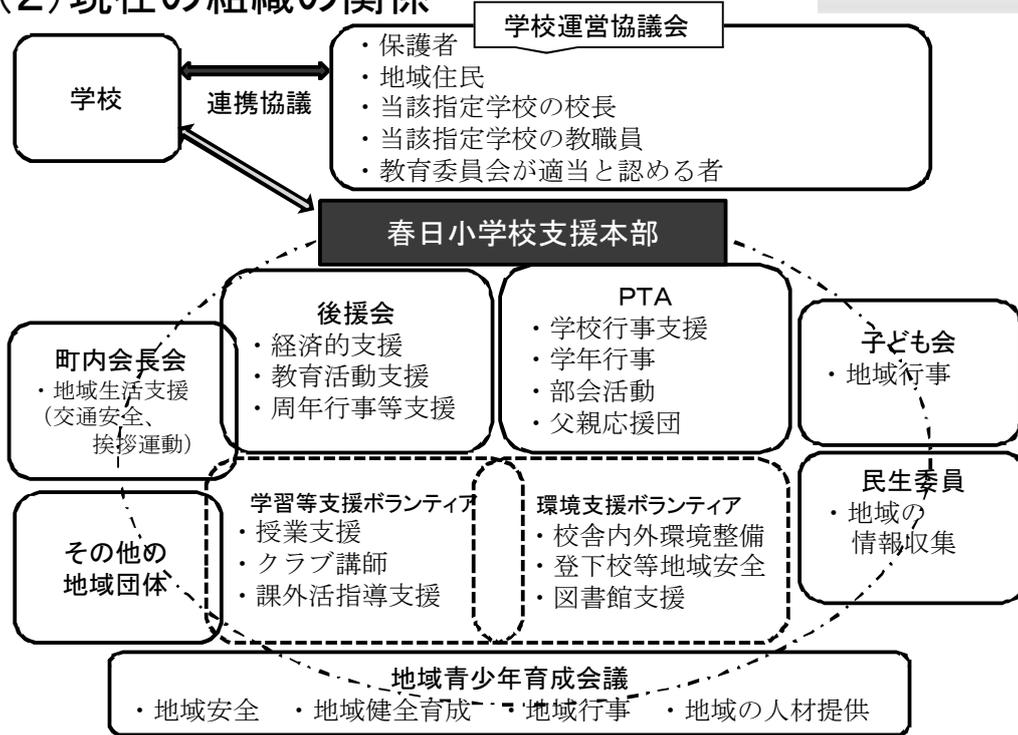


5 組織構造



5 組織構造

(2) 現在の組織の関係



6 学校支援本部の主な取組紹介①

前庭花壇の整備

学校の要望 ⇨ 学校支援本部地域コーディネータ



大豆寿会(老人会)
2年生の子どもたち
とのコラボレーション





6 学校支援本部の主な取組紹介②

生活科 お店探検！

学年の要望 ⇨ 学校支援本部地域コーディネータ



地域の商店街店主
担任の期待以上の
店舗数を確保



春日小学校 <http://www.kasuga-e.jome.ed.jp/>

14



6 学校支援本部の主な取組紹介③

総合的な学習の時間「地域観光パンフレット」紹介！

学年の要望 ⇨ 学校支援本部地域コーディネータ



様々な公的機関や施設
新聞社等へ発信
コーディネータの判断で
広がる対象



春日小学校 <http://www.kasuga-e.jome.ed.jp/>

15



7 学校運営協議会と学校評価の改善

学校関係者評価委員会は、現状でいいか？
組織とその運営に問題はないか？

日常性のある学校関係者評価が ⇒
実効性のある学校関係者評価に！



連携と協働による教育の実現へ
結果として、活力ある学校に・・・ 特色ある学校に・・・



7 学校運営協議会と学校評価の改善

改善手段のきっかけになるのが……………

コミュニティ・スクールの指定
(学校運営協議会の設置)



これまでの学校関係者評価の問題点

- (1)行事的、イベント的(日常性の不足)
- (2)評価委員が関係団体役員等の充て職
(子どもの実態や教育の動向の把握に格差)
- (3)書面やプレゼンによる自己評価の結果を
評価(実際の子どもの姿が見えず)

【その結果】

建設的な議論にならず・・・無責任な発言・・・
求める学校支援や学校運営改善にならず



学校運営協議会で何が変わるか

委員の任命制 ・ 委員の権限強化



委員の「責任」が拡大

委員のモチベーションが高揚



一体感(実効性ある学校関係者評価への期待)





7 学校運営協議会と学校評価の改善

学校関係者評価が変わる！

- ① 学校運営協議会は、校長の「ブレイン」
イメージとして、学校運営に関する政策立案集団
(モチベーションの高さと責任感の強さ)

【校長と学校運営協議会の関係】

「横」・「パートナー」



学校関係者評価と学校経営との一体化



春日小学校 <http://www.kasuga-e.jome.ed.jp/>

20



7 学校運営協議会と学校評価の改善

- ② 日常の子どもの姿で語る学校運営協議会

これまでの学校関係者評価……

○学校の自己評価(紙・言葉)をプレゼンで

○いいところばかりの子どもの姿



日常の実際の子どもの姿にこそ、協議の本質

(その仕掛けをどうするか…校長の出番)

【協議の基盤】：隠さない! オープン!

委員は学校職員! 本音!



春日小学校 <http://www.kasuga-e.jome.ed.jp/>

21

③ 「機能性」のある学校運営協議会

「協議」と「行動」の一体化



学校支援本部(実働部隊)の設置

- ・学校支援のコーディネーターは地域人財から
- ・設置は24年度、3年後(平成26)に自立へ
- ・2つの「地域連携室」設置(相談・事務・作業・会議)



8 カリキュラム検討会への参加

委員・コーディネーターが参加するカリキュラム検討会(4月・8月)

- ・地域住民ならではの発想や考え
- ・協働と参画意識の高まりと皆が「学校職員」



春日地域青少年育成会議規約第3条(目的)

- ・本会議は、春日地域が主体的に地域の教育活動を考え、また学校運営協議会と連携して地域の教育活動を行い、もって青少年の健全な育成を目指す。

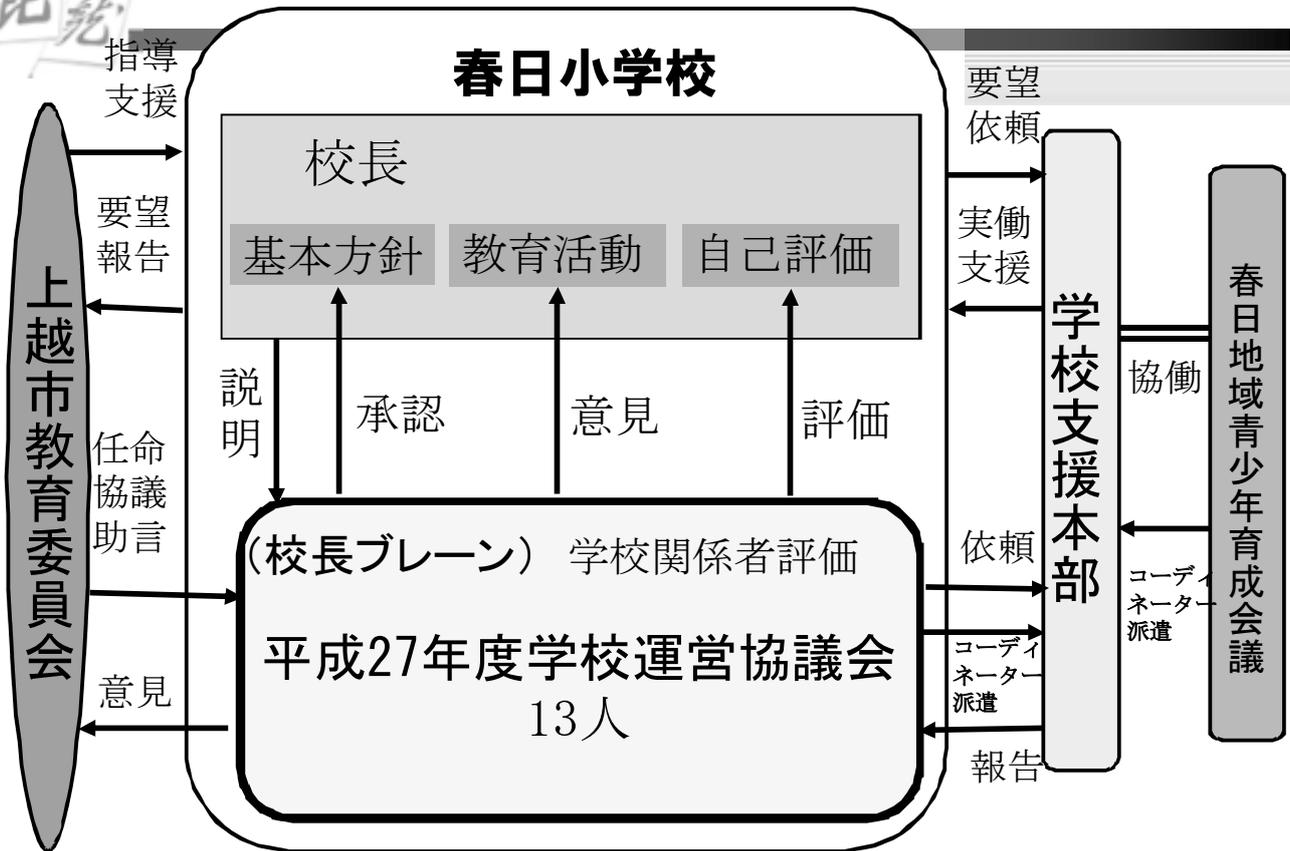
【学校運営協議会と育成会議の両輪で進める子どもの育成】



＜目に見える一つの具体例＞

学校支援本部地域コーディネーターに

- ・育成会議から2名派遣
- ・学校運営協議会から3名派遣





10 見えてきた成果と課題

1 成果（CS指定から3年と4カ月だが・・・）

- (1) 委員の「責任」ある・建設的な意見
⇒ 学校職員のやる気
- (2) 実効性が伴う学校関係者評価に
- (3) 学校の人財(ボランティア)確保・開発業務の軽減
- (4) 学校運営協議会(学校支援本部)と春日地域
青少年育成会議との協働<「両輪」で・・・>
- (5) 生活・「総合」全国大会(平26.10.31)での達成感
※成果を急がない、求め過ぎない(徐々に・・・)



11 見えてきた成果と課題

2 課題

- (1) 地域の「人財」確保の継続性（「最後は人」）
- (2) 学校運営協議会委員のさらなる学校理解と
子ども理解、そして「行動」！
- (3) 学校運営協議会制度の地域啓発の継続
- (4) 学校支援本部と他組織との連携強化
- (5) 学校職員と学校支援本部コーディネーターとの
コミュニケーションのさらなる活発化
※委員全員での課題共有と熟議





12 行政に望む支援

(1) 変わらぬ力強い「方針」明示！

～「上越方式」と「上越らしさ」を！～

- ・委員と学校職員のモチベーションの高揚を

(2) 委員対象研修の継続と内容の工夫！

- ・委員の「本気」と「行動」への高まりを
- ・委員の後継者育成(CS→「最後は人」)

(3) さらなる財政支援(環境整備)！

- ・地域連携室への電話、印刷機などの整備



13 終わりに

天の時を得て、地の利を生かし、
人の和により……CS推進

☆「時」・昨年10月31日 生活科・「総合」全国大会開催

・上越市立全小中学校 今年度CS「新」指定初年度

・上越市 今年7月31日 全国CS研究大会開催

学校運営協議会制度の成否は？

キーパーソンは「校長」

